

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
1	日本共産党 代表質問 15番 田平まゆみ	1. 市民の皆さんの置 かれている状況	市民生活の指標を最新・5年前・10年前の比較で 給与所得者の収入段階別調、生活保護世帯数、就学援助率、年間出生数、保 育所の保育料算定基準階層別区分での分布状況、国民健康保険料の一人当たり 年額、介護保険料の一人当たり基準保険料、ひとり親世帯数、保育所待機児童 数、特養待機者数、一人当たり市民税・所得税額などについて
	(質問方式) 一括質問 一括答弁	2. 子どもの貧困対策 の拡充を求めて	(1) 子どもの貧困対策についての施策展開計画 (2) 「子どもの生活に関する実態調査」の単純集計について、当局の所感
	3. 児童・生徒の放課 後の安全のために	(1) それぞれの実情に即した安全確保の方策が各施設で作成されているか、 各施設の実情に合っているか (2) 防災訓練について (3) 市が責任をもって連携体制の強化、施設面の改善を この間の進捗、改善点を聞く (4) ハザードマップの危険地域に位置する学童クラブに対し抜本的対策を (5) 学童クラブから保護者への緊急連絡時、小学校の防災一斉メール利用な どの連携対応について	
	4. 市独自の給付型の 奨学金制度の創設 を求めて	収入状況や就労状況を勘案した、返済免除の給付型奨学金の創設を	
	5. 大阪府の福祉医療 費助成制度につい て	大阪府の患者負担を増やす福祉医療費助成制度改定計画、本市の見解と対応	
	6. 文化財行政の充実 を求めて	(1) 文化財保護条例案を本市の実情に見合った豊かで充実した内容にするた め本市で文化財の研究・活動をされている様々な団体への聞き取り調査を (2) 国史跡「新堂廃寺跡・オガンジ池瓦窯跡・お亀石古墳」の保存活用計画 策定について、史跡公園としての活用など、今後の活用についての考えを 聞く (3) 第一中学校の余裕教室を利用している埋蔵文化財センターに保管してい る文化財に広く親しんでもらえる環境整備と人員配置を	
	7. 公共交通や交通不 便地域の利便性向 上に向けて	(1) レインボーバスを小型にし、便数や停留所を増やし、停留所に屋根を付 ける事について (2) 交通政策の推進「地域住民とともに考える機会」の、具体策は (3) 富田林市交通会議について ① 年2回でちゃんと議論ができるのか ② 近鉄バスの路線廃止の際の議論について ③ 富田林市交通会議で明らかになってきた課題とは	
	8. 河内長野市、千早 赤阪村との境界に おける自動車解体 業の計画について、 本市の対応は	(1) 里道を取り込んで事業者が工事を行うことは、法違反ではないか 里道に関しての経過と今後の対応は (2) 本市や関係機関の対応とともに、今後の見通しを聞く	

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
2	自由民主党 代表質問 16番 左近 憲一 (質問方式) 一問一答	1. 平成29年度施政方針本文中、5. 将来を見据えた持続可能な行財政運営の推進、①効率的・効果的な行財政運営 ③計画的な財産管理 ④明日を担う職員の育成について聞く	(1) 平成11年以降の会派代表質問・個人質問における当局の自己検証と評価を求めて a. 政策・財政・人事 三位一体の責務について ① 政策推進の役割について イ 計画性のある立案になっているか ② 財政運用の役割について イ 経費の使い道（費用対効果の見極め）について ロ 有効財産の使い道（運用）について ハ 各年度から見た必要予算、不必要予算の見直し方策について ③ 人事の役割と責務について聞く イ 職員研修の企画立案はどのように行っているのか ロ 部局配置において適材適所の見極め（再任用も含む）について ハ 職員ニーズに応じた人材発掘について ニ 定数管理計画について ホ 評価制度の導入について ヘ 年功序列方策をどの様に評価しているか？ ④ 市長及び理事者、役席の責務と責任の意識について イ 業務に対する責務の度合いについて ロ 主題を決めるなどし、会議時間を短縮すべきではないか ハ 民間の常識 役所の常識 その格差の認識について ニ 特別職の退職金はいかに？ ホ 市長の公約 改革と創造の評価は
3	公明党 代表質問 9番 高山 裕次 (質問方式) 一括質問 一括答弁	1. 適正な行財政運営と魅力あふれるまちづくり	(1) 適正な行財政運営 ① 地方公会計の取組状況と財務書類等の活用計画について (2) 都市魅力の創生と効果的な情報発信 ① 本市の地方創生交付金事業の現状について ② 地方創生交付金の積極的な活用と今後の展開について (3) 窓口サービスの充実 ① 国民健康保険窓口の一部委託の経緯について ② 委託する業務内容と今後の予定について
		2. 未来への希望を育む子育て・教育	(1) 保育所の待機児童対策について ① 本市子ども・子育て支援事業計画において見込んだ保育ニーズと現状について ② 待機児童対策への民間活力（幼保連携型認定子ども園なども含め）の活用について (2) 小中学生の発達障がい児に適切な教育を ① 介助員の増員や通級指導の体制強化など、支援教育の更なる充実を求めて (3) 新生児聴覚検査の普及、啓発について

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
		3. 支え合いを育む福祉 コミュニティづくり	(1) 高齢者福祉の推進 ① 高齢者「介護予防、日常生活支援総合事業」の計画と内容について ② 住民主体による支援Bの展開と課題について (2) 手話言語条例の制定について ① 本庁内における、ろうあ者の来庁時の対応の現状について ② 本市における、手話教育の現状について ③ 本市における、手話通訳者や、要約筆記者の受験者数や登録者数の現状について ④ 手話言語条例の制定を求めて
		4. 安全・安心な暮らし の確保について	(1) 防災対策の推進と消防体制の強化 ① 大規模地震が発生した際の対応や具体的な計画について ② 狭隘な地域での火災対策について ③ 災害状況の把握など、防災対策に効果的なドローンの導入について (2) 防災教育の推進について ① 小中学校における防災教育について ② 防災教育チャレンジプランの取組について (3) 防犯カメラの設置推進 ① 現状の設置状況や効果と普及啓発について ② 小規模な団体や町会等へ普及するために、補助金の増額や貸付制度の創設などの効果的な支援の実現を求めて
		5. 快適に暮らせる環境 づくり	(1) 安心・安全な道路の維持管理 ① 道路陥没調査の計画的な推進について (2) 交通政策の推進 ① 交通基本計画の進展状況について（過去の社会実験の検証など含め） ② 町会等と連携し、交通不便地域への問題解消に向けた取り組みについて
4	とんだばやし 未来 代表質問 5番 尾崎 哲哉 (質問方式) 一問一答	1. 子ども・子育て支援 の充実	(1) 本市における幼稚園から幼保連携型認定こども園への移行の支援について (2) 市立幼稚園と市立保育所を一体化の上、認定こども園へ移行した神奈川県秦野市の認定こども園を視察して
		2. 学校園における教育 の充実	(1) ICT教育について ① インターネットリテラシー教育の現状について ② ICT教育における設備の充実度について ③ 学校内におけるセキュリティ対策について (2) 中学校給食のアレルギー対策について
		3. 未来の担い手の育 成	(1) すこやかネット（地域教育協議会）の充実をもとめて ① 本市はすこやかネット事業をどのように認識しているか また、今後どのような方向を目指そうとしているのか ② 各すこやかネットに対しアンケート調査を実施しては ③ 市としてどのようなサポートをしてきたのか また、今後、出来ることはないのか

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		4. 高齢者福祉の推進	(1) 高齢者および急速に進行する高齢化を起因として増加する認知症の方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会の実現について (2) 本市が実施している「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」や「位置検索用端末機の貸与事業」の内容、および利用状況、成果、今後の課題等について (3) 認知症予防および認知症行方不明者の検索メールについて ① 認知症予防のため「コグニサイズ」（コグニション（認知）とエクササイズ（運動）の造語）を取り入れては、について ② 西宮市が実施している「認知症SOSメール配信事業」について (4) 高齢者の運転免許証返納について
		5. 歴史資源の保全と活用	(1) 富田林駅から寺内町一帯の屋外広告物条例や景観条例の制定をもとめて (2) 条例実施にあたっての費用補助制度の創設について
		6. 快適な都市空間づくり	(1) 大規模集客施設立地（新家錦織地区）の進捗状況、および市と事業者にとってお互いがプラスになる関係を築けるようにするべきでは、について (2) 幹線道路沿いの土地利用について
		7. 交通政策の推進	(1) 自転車の安全対策 ① 子どもや高齢者、さらにはこれまで交通安全について学ぶ機会がなかった自転車運転者に対する交通安全講習について ② 大阪府自転車条例への対応について、特に自転車保険の加入義務化について ③ 金剛中央線に自転車レーンの設置について
5	17番 林 光子 (質問方式) 一問一答	1. 「食」と「農」と「観光」のまちづくりについて	(1) 農業委員会が目指すべき今後の取組みについて ① 総合ビジョンにおける農業委員の意見集約をふまえて ① 後継者育成対策の具体的な取組みを ② 新規就農者の人材確保と育成をどうするか ② 「農業女子プロジェクト」への取組みの現状と課題をどうするか ③ 大阪府女性農業委員会ネットワークの設立を早急に ④ 農政部会の設置で議論の場の確立を (2) 本市農業の発展と活性化対策について ① 「援農ボランティア」制度の導入を ② 営農指導活動費運用の見直しと有効活用を（農業委員会・農業振興課・JAとの三位一体） ③ 石川県羽咋市の自然栽培農法の事例を参考にした今後の取組みを（オーガニックの里） ④ 農業振興課に女性職員の配置を求める ⑤ サバーファームの改革について ① 有識者を入れた検討委員会の継続を求める ⑥ 若者育成を目的とした「（仮称）きらめき創造館」での「食」と「農」と「観光」の教育推進について

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
6	18番 伊東 寛光 (質問方式) 一問一答	1. 労働時間の適正化について。	1、市は「労務管理」について、どのような認識を持っているのか。 2、市は「労働時間の適正化」について、どのような認識を持ち、どのような取り組みを行っているのか。 ※ 本市独自の「残業時間基準」を設け、基準を超えた場合には人事課が本人や所属長等からヒアリングを行うなどして、状況の把握や問題点の整理等を行い、適正化に努めてはどうか。
		2. 住みよい街を目指して。	1、バス停に固定式のベンチを設置してはどうか。 ※ 市民の皆様にもご協力（寄付）をお願いして、市が設置、維持管理を行う方法も検討してはどうか。 2、「落書き」対策に特化した条例の制定を検討してはどうか。 ※ 実態調査や市民アンケート等を行ってはどうか。 3、「アドプト・ロード・プログラム」を普及させるために。 ※ 現在の「概ね100m」という基準を緩和してはどうか。 ※ 市のウェブページやSNS等を活用して、取り組み状況をタイムリーに発信してはどうか。
		3. 本市の小学校給食について。	1、トラブルの発生状況と市の認識について。 ① 給食の遅延、食器・食缶などの汚れ、異物の混入、食器等の不足、給食の数量不足等、給食に関するトラブルの発生状況を問う。 ② 市はこの半年間に発生したトラブルの状況を見て、深刻な問題だと考えているのか、軽微な問題だと考えているのか、市の認識を問う。 ③ 上記の各種トラブルについて、解決の見込みは立っているのか。 ※ 業者は「異物の混入は本市の給食に集中しており、その原因は分からない」という趣旨の説明をしている。原因が分からないのであれば、解決のしようがないのではないか。 ※ 業者は、食器等の数量不足、給食の数量不足等について、数を1度しか数えていないし、それ以上のことはできないと説明している。解決のしようがないのではないか。 2、給食の安全性について。 ① 学校給食衛生管理基準で禁止されている前日調理について、本市は野菜の下処理について内諾しているとのことだが、安全性に問題は無いのか。 ※ 野菜の下処理についての内諾のはずが、生食の缶詰を前日に開けていたというが、安全性に問題は無いのか。 ※ 業者は前日調理を行わなければ、時間通りに給食を提供できないという説明をしているが、問題は無いのか。 ② 二時間以内喫食について、安全性に問題は無いのか。 ③ ドライシステムについて、運用方法や安全性に問題は無いのか。 ④ 釜を回転させていることについて、安全性に問題は無いのか。

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
			<p>⑤ 栄養士より、コンタミネーションやアレルギー物質の混入に繋がりがねない状況が発生しているとの指摘があったが、安全性に問題は無いのか。</p> <p>⑥ 決算委員会で「保健所の立ち入りにつきましては、保健所のほうに依頼について考えてまいりたいと考えております」と答弁しているが、検討した結果、どうなったのか。（いつ、誰が、誰の意見を聞いて、どのような判断を行ったのか。）</p> <p>⑦ 業者が「給食の中で一番大事なことは遅配を発生させないこと。遅配を発生させないことを第一優先にやっている」という趣旨のことをいっていることについて、市の見解を求める。</p> <p>※ 市の考えと異なるのであれば、なぜ市の見解との乖離が発生しているのか。</p> <p>3、問題が発生している根本的な原因について。</p> <p>① 調理委託先の会社が、事前の準備不足について指摘しているが、市の認識を問う。</p> <p>② 準備不足があったのであれば、その原因について問う。（責任の所在を明確に。）</p> <p>4、食中毒等の事故が起こった際、誰がどのような責任を取るのか。</p> <p>① 安全性に疑義が生じているのに、教育長、教育総務部長、学校給食課長は揃って「給食を止めるわけには行かない」という趣旨のことを言っている。給食の提供ありきで議論されているのはなぜか。安全性は何よりも優先されるべきではないのか。</p> <p>② 危険性について指摘されているにも関わらず、給食の提供を続けて、指摘されている危険性に起因する食中毒等の事故が起こった場合、どのような責任が発生するのか。また、誰がどのように責任を取るつもりなのか。</p> <p>③ 市長はどこまでこの問題について知っていて、給食の提供続行を是としているのか。</p> <p>5、給食について発生している諸問題や食中毒等のリスクを、一部の学校だけに押しつけているのは不公平ではないか。</p> <p>※ 民間会社が調理を担当している小学校をローテーションするなどして、トラブルやリスクを公平に負担してもらうよう、お願いするべきではないか。</p> <p>6、保護者説明会の開催によるトラブルの発生状況や食中毒等の事故発生リスクの周知、一部小学校での喫食の選択制の導入について。</p> <p>① 小学校ごとに保護者説明会を開催し、トラブルの発生状況やリスクについて周知をするべきではないか。</p> <p>② 現在発生しているトラブルや食中毒等の事故発生リスクについて知ってもらった上で、それでも学校給食を食べるのかどうか、選択してもらってはどうか。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
			<p>7、諸問題に対する市の対策について。</p> <p>① 米飯を別の会社に委託に出したとのことだが、おかず等の調理にどのような影響があるのか。おかずの調理を委託している会社の見解と、本市の栄養士の見解、それらを総合しての本市の見解について問う。</p> <p>② 民間会社に調理委託している分の一部を、第一学校給食センターに移すという方法について、懸念されている衛生面でのリスク軽減につながるのか。おかずの調理を委託している会社の見解と、本市の栄養士の見解、それらを総合しての本市の見解について問う。</p> <p>③ 民間会社に調理委託している分の一部を、第一学校給食センターに移すことによって、どのようなリスクや問題が発生するのか。</p> <p>※ 釜の回転、2時間以内喫食、食器や調理器具等の保管方法・保管場所、食材の保管方法・保管場所、提供できる献立への影響等について。（本市の栄養士の見解、学校給食株式会社の見解、それらを総合しての本市の見解について問う。）</p> <p>8、栄養士に発生している負担について。</p> <p>※ 栄養士を増やし、委託先の民間の調理会社に貼り付けてはどうか。</p>